

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月23日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		子どもたちが快適に過ごせるようにスペースを確保している	法令を遵守したスペースを確保している
	2	職員の配置数は適切である	9			法令で必要とされる配置数に加えて看護師を2名以上配置している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		コロナ対策や風邪等のまん延予防として、一定の距離をあげつつも、児童がかかりあえるよう環境づくりをしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9			年末の大掃除の際に、配置換えを行ったことでより整ったと思う。掃除も普段は行き届かないところもこまめに行っていきたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9			業務改善等の話し合いを、こまめに取り組んでいる
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1		国のガイドラインに基づいたサービス評価を実施し、結果は法人のホームページにて公表している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	3		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	3	・研修以外にもその都度児童発達支援に関してわからないことがあれば管理者に教えてもらっている	自分自身、学習不足などもあるため、本などを用いて学習する機会を増やしていきたい
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9			看護師間でのカンファレンスを月1回おこなうようにした。今後も続けたテンポラリーに合わせてのカンファレンスもできるように連携したい
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			お子さんのニーズに合わせてアセスメントツールを使用している
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			より広い視点から支援計画の作成に努めている
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	2		計画書の内容をきちんと把握した上で関わっていく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	季節に応じたプログラムを立案している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9			個別支援計画を職員で検討・共有し支援にあたっている

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	17	8	1		
	18	4	5	・終了時間が各自異なるため、カンファレンスシートを作成したものを次回読んでもらう。記録を読むなどで支援している ・業務の終了時間がバラバラなので難しい。何か気づいたことや気になることがあれば翌日に共有するように心掛けている	カンファレンスをする際に保育の面でも看護師さんたちと情報を共有できると子どもたちの発達のできることや発達するたえの手助けとなって少しでも自分で出来ることを増やすことができ、進学後の生活に役立てることが出来ると思う
	19	8	1	・毎日子ども一人ずつに対して記録を行い、特に新たに対応が必要なことがあればスタッフで共有できるようにしている	
	20	9			半年に1回、モニタリングを実施している
関係機関や保護者との連携	21	9			
	22	9			
	23	8	1	指示書などを見直し、できぎ昇進を介して新しい事項の追加などを記載して連携している	地域の保健センターの方から状況を聞いたり、在宅で受けている訪問Dr.やNs、OT、PTからお話を聞いたり情報交換が出来たらよいと思う
	24	9			
	25	8	1		
	26	7	2	小学校の担当者と連絡を取っている	通っている子どもたちがどのような進路先を選ぶのか見学に行く機会を持つようにする→昨年はコロナ禍のため開催中止
	27	5	4		
	28	4	5	・コロナ禍の為、機会があまりない	児童館などの利用をもう少し上手につかって交流(接する)機会が増えるといいと思う
	29	4	4	・コロナ禍の為、機会があまりない	参加したことがないので、今後機会があれば積極的に参加していきたいと思えます
	30	9		・連絡帳や送迎時に少ないながらも出来たことやその日の状況を共有するようにしている	
31	7	2			
32	9				新規契約の際に、重要事項説明書により利用方法等について説明を行っている
33	9			常に整理に心掛け、使いやすいスペースとなるようにしている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1	密に連絡を取っている	送迎時も利用して保護者との関わりを持ち、さらに意見を聞くようにしていく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	6		コロナ禍で開催できなかった。今後は、ZOOM開催を検討する
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		・すぐに管理者がスタッフに伝え共有できている ・管理者が対応、その都度スタッフに相談等してくれている	相談や申し入れには迅速に対応しており、苦情受付に関しても体制を整えている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		残存機能を把握し、その子のできることで伝えるようにしている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	3		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9			それぞれ対応マニュアルを策定し、対応方法の研修を実施している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			対応マニュアルを策定し、年2回利用者が滞る時に避難訓練を実施している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9		・抗てんかん薬の増加や、型が変わる増強するなど、特に注意してみるようにしている。その場合、すぐに家族と動画などで情報を共有している ・特に発作に関しては都度状況を親に確認、共有している。	ご利用契約時・また薬の変更があった際など保護者や主治医に記入していただく指示書により確認している
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		・アレルギー対応の児童がいれば指示書に沿って対応を行っている	保護者からの申し出や医師の指示書により確認し対応している
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		・何かあったときには管理者よりスタッフに都度伝えてくれている。またそれに関してどう思うか等話をしている	ヒヤリハット報告を、職員間で共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9		該当者なし	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。